

女性がはたらく

はたらく場を創る

当事者の課題から事業へ

『はたらく』を考える

終身雇用を基本とした「一生一社」という社会的基盤が薄れていく中で、正社員として安定的に働きたい、という志向も強くなっています。

一方で、大企業で、「コマ」となって働くよりは、自分のスキル、思いを活かした働き方をしたいという人も増えています。

民間公益団体で働くことで得られること、課題など…実際に働いている人たちの話を元に考えます。

日時 2018年 **2**月 **24**日(土) 13:30~16:30

場所 スクエア21 4階会議室 (パルシステム千葉会議室)
(船橋市本町2-1-1 船橋スクエアビル JR線、京成線船橋駅から徒歩7分)

講師 松原 朋子 さん (設楽剛事務所 共同代表・インターメディアーター)

講師プロフィール

日本マイクロソフト社長室にて、企業市民活動およびCSRコミュニケーションを統括後、現職。総務省委員等を歴任。現在は「物語り」(ナラティブ)を重視したこれからのマーケティング(第3カーブ・マーケティング)でクライアントを支援する。あいだを結び展開するインターメディアーターとして、新たな結び目を回復・創出しながら、イノベーション型プロジェクトに携わる。



長浜 光子さん (「発達及び知的障害児・者を支援する会」NPO 法人はあもにい理事長)

2007年より、「半径20キロ圏内からのノーマライゼーション社会の実現」をめざし活動を続けているが、現在はチャレンジドフェアトレード(働く障害者の所得向上)への取り組みに最も力を入れている。

はあもにいソーシャルファームプロジェクト: <https://harmony-socialfirm.com/>

大野 亮さん (NPO 法人ダイバーシティ工房理事・発達支援事業部マネージャー、市川市)

千葉県四街道市生まれ、大学生時代、インターンとして法人の立ち上げに携わる。卒業後は人事コンサルティング会社にて、中小企業の働き方変革に奔走。子どもを取り巻く問題を解決する仕事がしたいという思いを胸に2017年より現職。産休からの復帰やリモートワークなど多様な働き方の実現に向けて試行錯誤中。

山本 佳美さん (NPO 法人ちばMDエコネット事務局長、船橋市)

3歳年下の知的障害を持つ妹が、「通常学級で過ごすのが普通」と思って育つ。大学院卒業後、非常勤講師の職が決まったと同時に、両親の手伝いでカフェひなたぼっこの立ち上げに関わる。障害者の働く場の無さを知って愕然。

4年間、仕事をかけ持ちして続けた後、障害のある人と共に活動を広げ、2017年にカフェは15周年!

対象 関心のある方どなたでも **定員** 60名(先着順) **参加費** 500円



お申込み先・主催 ちばNPO協議会

事務局 NPO 法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ (NPOクラブ)

TEL 043-303-1688 FAX 043-303-1689 Mail npo-club@par.odn.ne.jp

〒261-0011 千葉県美浜区真砂 5-21-12

<http://www.npoclub.com>

会場 MAP 「スクエア 21」 4 階 パルシステム千葉会議室



J R 線、京成線船橋駅から徒歩 7 分

2018/2/24 セミナー「はたらくを考える」 参加申込書

NPO クラブ FAX 043-303-1689

お名前	
ご所属	
ご連絡先	ご住所（市町村名のみで結構です） _____ TEL _____ FAX _____ E-mail _____